移乗用品

生活

住宅関連

ベッドでの生活とリハビリテーション

寝室は自立した生活を送れる空間として考えることが大切です。 高齢者には布団よりベッドの方が、起きたり座ったりする動作が ラクです。特に介護ベッドは背上げ、膝上げ、高さ調節ができ、 テーブルや介助バーなど様々なオプションがあります。

高齢者には布団よりベッドの方が、起きたり座ったりする動作がラクです。

介護ベッドの機能

(1)背上げ又は高さ調節機能付ベッド

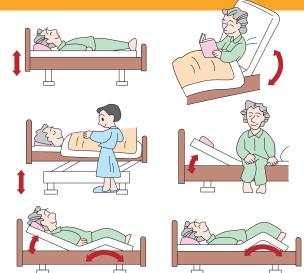
ベッドの背が上がります(高さ調節ができます)。筋力の弱った方で も起き上がりがラクで、読書や食事に便利です。介助者には、高齢 者の立ち上がり等の介護負担を軽減します。



ベッドの背が上がり、高さを調節できます。足腰がちょっと弱った方 はベッドに腰掛けて、かかとがつくぐらいの高さに調節すると立ち 上がりやすくなります。腰をかがめず介護する姿勢を保てます。

背上げ・膝上げ機能付ベッド

ベッドの背と膝が上がります。膝上げは高齢者の脚のむくみや疲 労回復に効果的。排泄介護等がスムーズに運びます。※背上げ、膝 上げが別々に調節できるベッドをギャッチベッドといいます。(イラ ストは背膝連動ギャッチベッドです)



背上げ・膝上げ・高さ調節機能付ベッド

ベッドの背・膝が上がり、高さを調節できます。各機能 を手元スイッチのワンタッチ操作で自由に使い分ける ことができます。高齢者には自立への手助けとなり、介 助者も手動操作による肉体的負担を軽減します。





介護ベッドを選ぶ時のポイント

ベッド選びで大切なことは、ベッドの上でラクに身体を起こせたり、ベッドに腰か けてラクな姿勢が保てること。また、お世話する人がラクな姿勢で介護ができる ことも考えて選びましょう。

症 状

ハンディを負っているところを確認 し、自立を促進する補助具と考えて下

75歳を過ぎた高齢者は何らかの障害 が出てくるものと考えて下さい。

体が曲がっているか、マヒがあるか、長さ は左右対称かをチェックします。(ベッド の位置はマヒがある側を壁にし、利き腕 や脚を動かしやすいようにします)

身長とのバランスで痩せているか、 太っているかをチェックしましょう。

介護用マットレスは191㎝で統一され ているため、175㎝以上の人は足先が 出ます。(14㎝延長の補助フレームの 取付可能なベッドもあります)

ADLレベル

現時点での残存能力を把握しておき ましょう。(日常生活自立度)

進行性か慢性か?

症状の変化に対応できるものを選び ましょう。

床に直敷きの布団より介護ベッドをおすすめします

- 高さ調整や背上げ機能のあるタ イプなら起き上がり、立ち上がり が楽になります。
- ●視野が広がるのでコミュニケー ションがとりやすくなります。
- ●車椅子などへの乗り移りがしやす くなります。
- ●食事や寝返り、着替えといった生 活介助の負担が軽減します。

サイドレール

布団のずれや就寝時の転落防止に



<u>ベッド用グリップ</u>

立ち上がりの時つかまって体を支える